

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		自然公園及び自然ふれあい施設の利用者の増加							
指標	指標名	素波里園地利用者数						指標の種類	
	指標式	素波里園地利用者数						● 成果指標 ○ 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			2,800	3,100	3,400	3,700	4,000	
	実績b	3,161	3,290	データ等の出典					
	東 北 全 国			指定管理報告書					
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 05月 ○ 翌々年度 月									
指標	指標名	奥森吉青少年野外活動基地利用者数						指標の種類	
	指標式	奥森吉青少年野外活動基地利用者数（キャンプ場利用者を含む）						● 成果指標 ○ 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	
	実績b	1,777	1,681	データ等の出典					
	東 北 全 国			指定管理報告書					
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 05月 ○ 翌々年度 月									
指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む) 									
事業の必要性									
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてワーケーション利用者を呼び込むためには利用施設の改修やワークスペースの設置等による受入環境の整備が必要である。また、整備した受入施設についての情報発信を行う必要がある。									
住民ニーズに照らした事業の必要性 リモートワークの需要拡大の機会を捉え、誘客や交流人口の増加を図り、人口減少に対応する必要がある。									
事業の県関与の必要性 ☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ■ 県でなければ実施できないもの ☐ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 国定公園や県立自然公園等の県が管理する施設を利用するものであり、県が実施する必要がある。									
政策評価委員会意見						重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定			
						○ 重点事業 ○ その他			